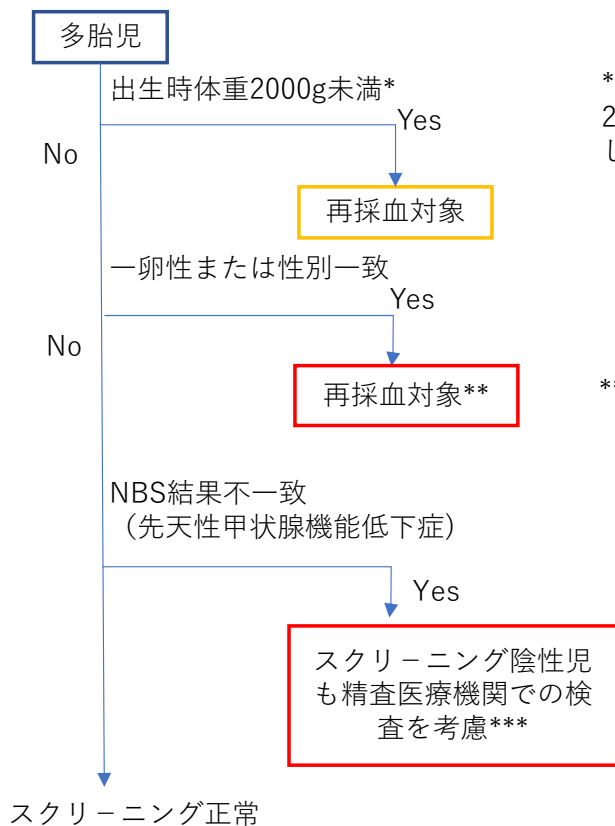


多胎児における新生児スクリーニング検査への対応フローチャート



* 出生体重が2,000g未満の児は通常のスクリーニングの採血を行った後に、1) 生後1ヵ月、2) 体重が2,500gに達した時、3) 医療施設を退院する時のいずれか早いところで2回目の採血を行うことが望ましい（日本マススクリーニング学会誌 16(3)：6-7, 2006）。

** 日齢14までに初回スクリーニングを実施した施設で2回目の採血を行なうことを考慮する。

*** NBS陽性児の精査医療機関で、NBS陰性児の甲状腺機能検査を行なうことを考慮する。